

現地視察（２）中山間地の農林水産 塩尻市平沢地区

鳥獣害センサー実験地視察 塩尻市振興公社 林テクノコーディネータ



警報発信装置の設置状況



野生獣通報システムの説明風景



ブザー音と発光ダイオードでの威嚇のデモ



感知情報を受信する最寄りの中継機

- ・猿やイノシシなどによる農作物被害対策として塩尻振興公社と市内企業が共同開発。
- ・赤外線センサーを備えた警報発信装置を畑など野生獣が出現する場所に設置。
- ・野生鳥獣が近づくとブザー音と発光ダイオードの点灯で威嚇。
- ・センサーの感知範囲が15メートル。広い農地では、多数設置する必要があることが判明。
- ・野生獣の感知した情報は、最寄りのアドホックネットワークの中継器を経て、パソコンや携帯電話に感知情報と位置情報を通知する仕組みになっている。
- ・農家からは、野生獣の識別の要望もあり、カメラを搭載した改良型の開発が進められている。
- ・一定の野生獣の出没情報が集まれば、動物の行動予測が可能となることや猟友会の猟師による駆除を支援することが可能である。

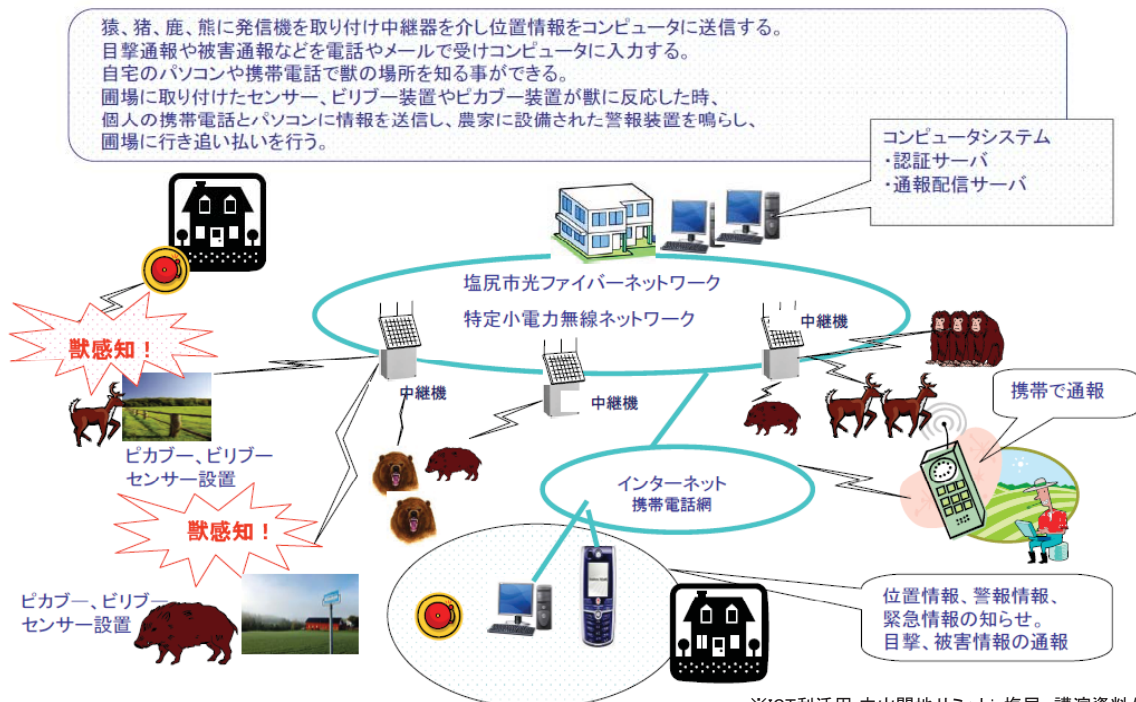
平沢地区 中継機位置図 (鳥獣害実験地域)



SIP ITアグリ研究会



野生獣対策システムイメージ図



SIP ITアグリ研究会



木曾平沢地区
22年5月1日 - 22年5月27日

たとえば...
パソコン画面
CATVでの配信



速報 5月27日xxxで鹿によるトウモロコシ半壊
5月26日xxxで鹿によるトウモロコシ全壊

予測 猪ZZZ地区からAAAへ移動の可能性あり



※ICT利活用 中山間地サミットin塩尻 講演資料から抜粋